

令和6年度 事務事業マネジメントシート

令和6年度 事務事業マネジメントシート		事務事業N o .		17-	3
事業名	A L T派遣事業	会計	款	項	目
		一般	10	1	2
政 策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	学校教育課		
施 策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	目的 (対象がどのような状態になっているか)	・英語を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲をもてるようにする。 ・外国語に関する指導力が向上する。
事業内容	①〔外国語指導助手派遣事業〕園では5歳児を中心に学期に1回程度訪問し、英語に親しむ活動を行う。 小学校では、5、6年生の外国語、または3、4年生の外国語活動を対象に平均1クラス週1時間の授業を英語教育推進教員と綿密な打ち合わせをしながらH32全面実施の学習指導要領に則った授業を行う。中学校では、英語科の指導助手として、全ての学年を対象に平均1クラス週2時間の授業を行う。 ②〔16年一貫教育プラン実践事業〕ALTの協力を得ながら東員学び検定の英語版テキストを作成する。ALTが検定員となり小学校で行う英語検定の4技能のテストを行う予定。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1 中学校英語時間数(週/クラス)	2	2	2	時間	→	2
	2 小学校外国語活動3、4年(週/クラス)	1	1	1	時間	→	1
	3 小学校外国語活動5、6年(週/クラス)	2	2	2	時間	→	2
	4						
		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)	令和7年度(予算)		
全体事業費(千円)		956		278	1,704		
財源内訳	うち一般財源	956		278	1,704		

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	専科教員等と中学校英語教員とALTが連携しながら、積極的・効果的な活用を進める。とういん英語検定の学習への関わりを進める。	③取組の課題	小学校の外国語(5.6年)、小学3.4年の外国語活動を、英語専科教員が行っており、言語活動が豊富にある授業を行っているためALTの需要が増している。
②R6年度に実施した取り組み	小中学校の外国語(英語)の授業に加えて、幼稚園6園でも外国語に触れる活動をALTが行い、幼少期から小学校、中学校へと連続して、外国人との会話に触れる機会を設ける。中学校や卒業後の英語活用を意識した取組を行った。	④今後の改善計画	専科教員等と中学校英語教員とALTが連携しながら、積極的・効果的な活用を進める。とういん英語検定の学習への関わりを進める。英語学習が好きな児童生徒の割合を高める。